

# 「道徳」展はじまりました。

2018年度から「特別の教科 道徳(道徳科)」が学校で実施されます。えっ、知らなかった!?なぜ「道徳」は教科化するのか。いつから「道徳」は教えられたのか。今までどのように行われてきたのか。どんな教材があるのか。今後どのように変わっていくのか。そもそも「道徳」って教科じゃなかったの!?なんて人もいるかもしれません。「道徳」の今・昔・未来をお見せします。これからの「道徳」について一緒に考えていきましょう。

国立大学法人兵庫教育大学教材文化資料館平成27年度後期展

## フォーカス! 「道徳」 F O C U S / D O U T O K U

2015.10.1 木 >>> 2016.2.29 日



国立大学法人 兵庫教育大学教材文化資料館



「道徳」という語は、古くは『易教』などにも現代とほぼ同じ意味として用いられています。「道」と「徳」とに分けてその意味するところを探てみると、「道」とは古くから「社会的規範」を表しており、社会的・集団的な習慣(慣習)を表しています。一方「徳」とは、ギリシア語のアレテー(aretē)と同義語で長所・美点・優秀さを表しており、哲学的には「卓越性」を表しています。つまり、「道徳」を学ぶとは、社会のより良き規範を学び、個人のより良き人格を形成することを表しています。

「道徳」は、戦後領域の一つとして、学校教育の中で子どもたちのより良い人格の形成を目指して実践されてきました。この「道徳」が今、教科化されようとしています。なぜでしょうか？その最も大きな理由は、「いじめ問題」の深刻化ではないでしょうか。大津の事件に端を発し未だ止むことを知らない「いじめ」。そのマイナスの連鎖を断つべく文部科学省も本腰を入れたと言えます。

そもそも「道徳」は学校教育の中でどのように行われてきたのでしょうか？「道徳」を学ぶための教材(読み物資料)とはどのようなものがあるのでしょうか？「道徳」の効果は？今後どのような方向に進んでいくのか？これらの疑問に答えるべく今回の後期展を展開していきたいと考えています。

具体的には、道徳教育の歴史的変遷、文部科学省が配布した『私たちの道徳』の内容、授業実践の在り方、兵庫県道徳副読本、これからの道徳「特別の教科 道徳(道徳科)」といった多彩なコーナーを設け、皆様と共に今後の道徳について語り合うことができればと考えています。

みなさんにとって「道徳」が堅苦しいイメージからすこしでも親しみやすいものに近づくことになるよう願ってやみません。

国立大学法人兵庫教育大学教材文化資料館平成27年度後期展

# フォーカス! 「道徳」

FOCUS / DOUTOKU

## 開館時間

平日8時30分～22時／土日祝10時～17時

## 休館日

11月21日、12月28日～1月3日、16・17・26日、2月25・26日

※臨時に休館する場合があります。

附属図書館HPをご確認ください。<http://www.lib.hyogo-u.ac.jp>

入館  
無料

フエスタ  
国立大学2015

## アクセス



## 周辺図



車：中国自動車道滝野社 I.C. から約15分  
バス：JR三宮駅・明石駅・姫路駅から  
神姫バス「社営業所」乗り換え「兵庫教育大学前」下車  
電車：JR加古川線「社町駅」から神姫バス「兵庫教育大学前」下車  
教材文化資料館は附属図書館に併設しています。

## お問い合わせ

国立大学法人  
兵庫教育大学教材文化資料館

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1  
TEL: 0795-44-2362 ※平日9時～17時のみ FAX: 0795-44-2364  
HP: <http://www.hyogo-u.ac.jp/museum/>